

問1 鎌倉時代において、後鳥羽上皇が幕府から政権を取り戻そうとして兵を挙げたものの敗北し、結果として幕府が朝廷の監視や西日本の統治を強化するために「六波羅探題」を設置する契機となった出来事を選びなさい。（2017年 鳥取公立入試 類似）

1. 平治の乱                      2. 承久の乱                      3. 平将門の乱                      4. 建武の新政

問2 北海道には、縄文時代につくられた「キウス周堤墓」などの遺跡が残されています。この北海道やその周辺諸島に古くから住んでおり、独自の文化を築いてきた先住民族の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2022年 沖縄公立入試 類似）

1. アイヌ民族                      2. 屯田兵                      3. 琉球民族                      4. 渡来人

問3 室町時代、村ごとに結成された自治組織である「惣」の力を背景に、農民や運送業者が団結して、幕府や高利貸しに対して借金の帳消しを要求した行動について、彼らが布告を求めた命令の名称として正しいものはどれですか。（2025年 秋田公立入試 類似）

1. 徳政令                      2. 人掃令                      3. 御成敗式目                      4. 武家諸法度

問4 室町時代、第3代将軍の足利義満が明（みん）との間で始めた正式な貿易において、当時活動していた海賊である倭寇（わこう）と、幕府が認めた正式な貿易船を明確に区別するために使用された、二枚一組の割符（札）を何と呼びますか。（2018年 愛媛公立入試 類似）

1. 勘合                      2. 朱印状                      3. 日宋貿易証                      4. 御朱印

問5 室町時代に起きた土一揆の際、借金が帳消しになったことを当時の農民たちが石に刻んで残した碑文（徳政碑文）が現代に残っています。このような碑文が作られた社会的な背景として、正しい説明はどれですか。（2023年 新潟県公立入試 類似）

1. 農民たちが惣という組織を通じて強い団結力を持ち、自らの要求を実力行使で通す力を持っていた。  
2. 幕府が農民の生活を保護するために、定期的にすべての借金を免除する法律を石碑に刻ませた。  
3. 馬借などの運送業者が、農民の代わりに借金を返済したことを記念して各地に建立した。  
4. 酒屋や土倉などの高利貸しが、農民からこれ以上襲撃されないように自ら借金の破棄を宣言した。

問6 室町時代に足利義満が開始した日明貿易（勘合貿易）において、日本が中国（明）から輸入した品物の組み合わせとして最も適切なものを次の中から選びなさい。なお、当時の日本は国内で独自の貨幣を鑄造していなかったため、この貿易によって持ち込まれたものが国内の経済で広く流通しました。（2021年 京都公立入試 類似）

1. 銅銭・生糸・書籍                      2. 銅・硫黄・刀剣                      3. 綿織物・鉄・鉄砲                      4. 銀・ガラス製品・経典

問7 中世の政治史を整理した年表において、鎌倉幕府の滅亡後、武家政権が再び確立される過程について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 秋田県公立入試 類似）

1. 足利尊氏が、後醍醐天皇との対立の末に北朝を立て、征夷大將軍となって幕府を開いた。  
2. 足利義満が、金閣を建立するとともに中国の明と貿易を行い、幕府の権威を最大に高めた。  
3. 源頼朝が、全国に守護・地頭を設置する権利を得て、鎌倉に武家政権を樹立した。  
4. 北条時宗が、元軍の侵攻を退け、幕府による全国の武士への統制を強化した。

問8 室町時代の外交において、三代将軍の足利義満が明の皇帝に対してとった外交姿勢とその後の貿易の形式について述べた文として、正しいものはどれかを選びなさい。（2016年 岐阜公立入試 類似）

1. 明の皇帝に対して臣下の礼をとり、朝貢という形式で貿易を行う道を選んだ  
2. 対等な立場での国交を求め、書状の中で「日出づる処の天子」と名乗った  
3. 貿易の利益を独占するため、明の皇帝からの日本国王という称号を拒絶した  
4. 元寇による対立関係を解消するため、大量の銀を無償で献上する形式をとった

問9 室町時代の第3代将軍である足利義満は、京都の北山に金閣を建てるなど、公家と武家の文化が融合した北山文化を築きました。この時代、足利義満の保護を受けて大成された、猿楽や田楽を源流とする日本の伝統芸能は何ですか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 能                      2. 歌舞伎                      3. 人形浄瑠璃                      4. 雅楽

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 2</b> <b>承久の乱</b>	1221年に起こったこの乱により、朝廷側の勢力は完全に制圧されました。幕府はこれ以降、京都に六波羅探題を置いて朝廷を厳しく監視し、それまで支配が及びにくかった西日本への統制を強めることになりました。平治の乱はこれより以前の平安末期の出来事であり、平氏が政権を握るきっかけとなった争いです。
問2	<b>答え 1</b> <b>アイヌ民族</b>	北海道や千島列島、樺太（サハリン）などの地域に古くから居住してきた先住民族です。彼らは自然界のあらゆるものに魂が宿ると考える独自の精神文化や、アイヌ語という独自の言語を持っていました。記述の「キウス周堤墓」などの縄文時代の遺跡に見られる文化とも深い関わりがあり、日本の歴史における先住民族として位置づけられています。
問3	<b>答え 1</b> <b>徳政令</b>	室町時代には農民の自立が進み、村ごとの自治組織である「惣（惣村）」が形成されました。生活に困窮した農民たちは、馬借などの運送業者とともに土一揆を起こし、幕府に対して借金を無効にする「徳政令」の発布を強く求め、土倉や酒屋などの高利貸しを襲撃しました。人掃令は安土桃山時代、御成敗式目は鎌倉時代、武家諸法度は江戸時代のものです。
問4	<b>答え 1</b> <b>勘合</b>	室町幕府の全盛期を築いた足利義満は、明の皇帝から「日本国王」の称号を得て、正式な国交を結びました。当時、東シナ海などでは「倭寇」と呼ばれる海賊が略奪行為を行っており、明側はこれに強く抗議していました。そこで、正式な貿易船であることを証明するために、漢字の半分が書かれた「勘合（勘合符）」という割符を、明側が持っている控えと照らし合わせる方式が採用されました。この仕組みを用いた貿易であるため、勘合貿易と呼ばれます。
問5	<b>答え 1</b> <b>農民たちが惣という組織を通じて強い団結力を持ち、自らの要求を実行行使で通す力を持っていた。</b>	当時の碑文（大和国柳生街道の徳政碑文など）は、土一揆などの結果として借金がなくなったことを農民自身や地域社会が証明するために残されたものです。これは、惣を中心とした農民の連帯が、幕府や高利貸しに対して要求を通すほどの社会的勢力になっていたことを示しています。
問6	<b>答え 1</b> <b>銅銭・生糸・書籍</b>	室町時代、幕府は明から大量の銅銭（永楽通宝など）を輸入することで、国内の貨幣経済を発展させました。また、高級な衣服の原料となる生糸や、当時の知識層が求めた書籍も主要な輸入品でした。一方で、選択肢にある「銅・硫黄・刀剣」は日本から明へ送られた輸出品であり、「鉄砲」が伝来するのは戦国時代に入ってからのことです。
問7	<b>答え 1</b> <b>足利尊氏が、後醍醐天皇との対立の末に北朝を立て、征夷大將軍となって幕府を開いた。</b>	足利尊氏は後醍醐天皇と対立した際、別の天皇（光明天皇）を立てて北朝とし、自らは幕府を開きました。これに対し、後醍醐天皇は吉野（奈良県）に逃れて南朝を開き、南北朝時代へと突入することになります。
問8	<b>答え 1</b> <b>明の皇帝に対して臣下の礼をとり、朝貢という形式で貿易を行う道を選んだ</b>	足利義満は、巨大な帝国である明との貿易から得られる利益を幕府の財政基盤とするため、プライドよりも実利を優先しました。彼は明の皇帝に対して家臣としての立場（日本国王）を認め、貢ぎ物を送る「朝貢」という形式をとることで、公式な国際関係を築きました。
問9	<b>答え 1</b> <b>能</b>	室町時代の北山文化において、観阿弥・世阿弥の親子が、それまで民衆の間で行われていた猿楽や田楽などの芸能を、幕府の保護を受けながら芸術的に高め、現在の「能（能楽）」の形へと完成させました。